
加太の自然、産業、文化、歴史について調べたことをポスターにまとめて発表しました。

1年生でのキャリア桐の葉Ⅰは、加太の自然、産業、文化、歴史についての学習から始まります。

新入生同士の交流を兼ねた加太合宿を終えた後には、加太合宿での現地学習を通して、疑問に思ったことや調べてみたいと思ったことを4人1組の班で出します。この際にはブレインストーミングの手法を利用して、疑問に思ったことや調べてみたいことを出します。次にKJ法を用いて、加太の自然、産業、文化、歴史の4つの領域に分けて、自分たちの班が知りたい内容を整理します。そして班員各自が自然、産業、文化、歴史のどれか1つを担当し、班で出された疑問や調べたいことを調べます。調べる際には、自分調べる領域を担当する他の班のメンバーとチームを組んで調べました。

自分の班を代表して各自が担当する領域の疑問や調べたことを、ポスターにまとめ、お互いに発表したり質問し合うことを通して、加太についての理解がさらに深まりました。



鯛について詳しく学ぶことができました。春にはピンク色の桜鯛、秋にはオレンジ色に染まった紅葉鯛があり、たくさんの人々から人気があり、「私も食べてみたい!」、「見てみたい!」と思いました。そして加太学習から、和歌山にたくさんの自然があり、深い歴史、漁業町の文化などがある「加太」という素敵なおところがあることはすごいなと感じました。そして、その良さを人に伝えることができました。

生徒感想より

自然の面では、友ヶ島に正反対の気候で育つ2つの植物が2つともあるという、珍しい発見をしました。また、私が調べていた文化でも、郷土料理を調べるとおいしそうなものばかりだし、神社も歴史があって行ってみたいと思うことがいっぱいありました。「加太は自然がいっぱいの楽しいところ」ということを学べたと思います。

生徒感想より